



# 中央聖書神学校

Central Bible College

## CBC後援会だより

### 「CBC後援会の集い」報告

2017年5月4日、第41回国聖会、第3聖会終了後、委員、会員、関心をお持ちいただいた未加入信徒37名（登録55名）の参加を頂き、松田副会長の司会進行で、事業報告と質疑応答等の交わりの恵みの時を持ちました。

一時間ほどの集いでしたが、会員も未加入の信徒も、「Be One—御霊に励まされて神学校を支援しよう」と決意を新たにしましたことです。



★冒頭、峰田会長からは、日頃のご支援への感謝と、集いへの参加の御礼のご挨拶をいたしました。

★聖会中の諸事繁忙な教団理事7名のご来会を賜りました。寺田理事長からご挨拶をいただき、慰められ励まされました。



#### ★交流・意見交換

会員からは「教会で会員になることを勧めている」と力強いお証をいただきました。

未加入の方からは「よくわかっていなかった」、「多くの信徒はあ

まり知らないのではないか」、「後援会だより」を初めてみた」、などと感想が述べられ、もっと告知広報に励むようにと提言をいただきました。

また、後援会費の使途をもっと明確にしてほしい、との意見も頂きました。

★最後に北野校長のご挨拶を頂き閉会としました。



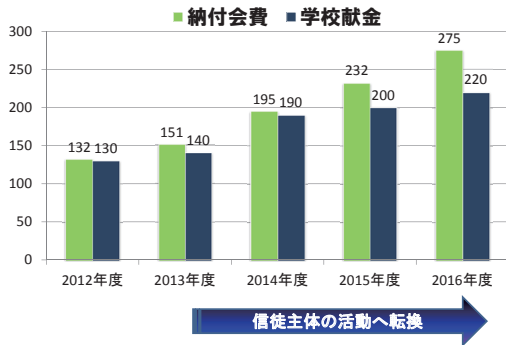
# 数字で見る

## 後援会の現況

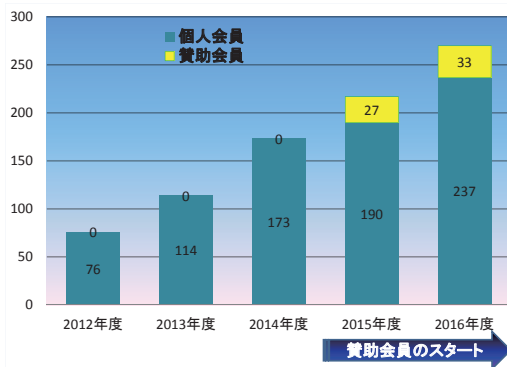
「後援会の集い」で、2016年の実績をパワーポイントの資料にして報告しました。

① 会員の会費は神学校への献金として捧げられています。会員の増加と共に、献金額も増加しています。今後は全額奨学金に用いて頂くこととします。神学生の学びのため、どうぞ支援に加わってください。

### ① 会費と学校への献金額の推移

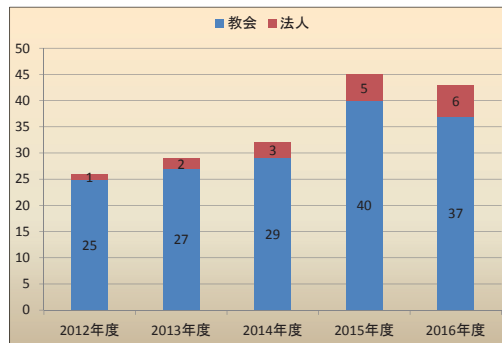


### ② 個人の会員数の推移



② 個人会員、賛助会員が増加しています。ありがたいです。今まで会員にならなかった方は「教会会計から神学校の負担金を献金しているの」で、個人的に献金する必要はないと思っていた」と言うものでした。  
神学校経営には多額の経済的な必要がありますので教会からの献金はまだまだ十分とは言えない状況です。一方、献身された神学生本科生の経済的な支援は様々な奨学金が支援しています。  
後援会は、神学生の方々を直接支援する奨学金として用いて頂くために神学校に献金します。

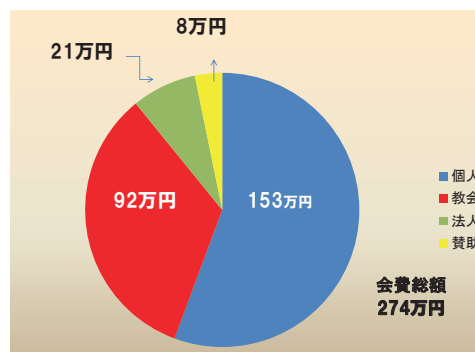
### ③ 法人・教会の会員数の推移



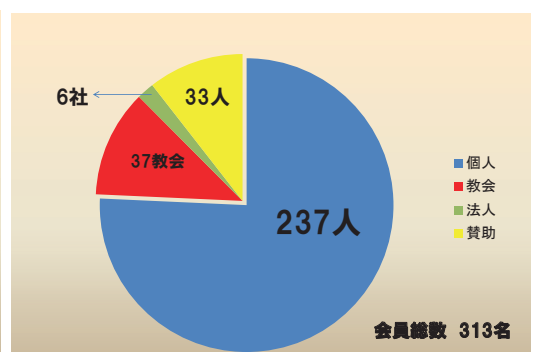
③ 献身された神学生は教団からの、教団への献身者です。全教会が祈り経済的な支援をするべきだと思います。全教会が祈りと共に後援会会員になっていただきたく願っています。

④ 後援会は、教会、法人（事業者）、個人の3区分の会員と年会費5000円未満の献金を捧げる方を賛助会員として構成されています。個人会員、賛助会員が会員数の9割近くを占めています。  
⑤ 多額の会費を捧げてくださる教会がありますので教会会員の会費が相当なウエイトを占めています。また、法人（事業者）の中には多額の会費を納めていてくださる方がおられますので、この占有率も会員数の割には大きなウエイトを占めています。

### ⑤ 2016年度 区別の会費の構成



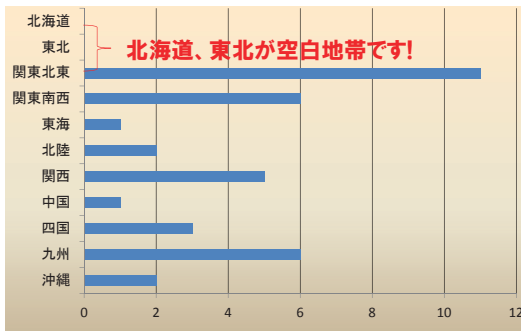
### ④ 2016年度 区別の会員数の構成



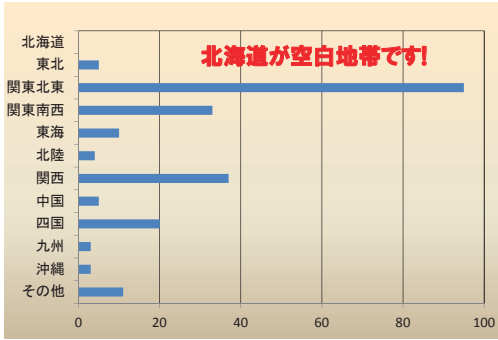
⑥ ⑦ 40年の歴史を振り返りますと、牧師先生個人が会員となられて、そして教会から個人会員からの会費納入は全教区を網羅していました。

ここに表示していただきます実績は2016年に会費を納入された教会会員・個人会員に限ったことです。2017年、よろしくお願い申し上げます。

⑥ 2016年度 教区別 会員の教会数



⑦ 2016年度 教区別 個人の会員数



## 「定例総会」報告

1977年5月23日、有志の牧師先生によって後援会設立総会が持たれました。爾来40年の歴史を重ねる後援会は、3年前から信徒がお世話役を継承して活動しています。

2017年2月25日総会を持ち、会場参加28名、委任状154名の参加者を得て、先に送達した議案をすべて承認いただきましたので、報告いたします。\*\*\*\*\*

総会前に持たれた「CBCタイム」では神学生の賛美と各学年から1名ずつ3名の神学生が学びの恵みと奨学金を受ける感謝を述べられました。本科3年生の概要を掲載します。

● 柿谷信実 駒ヶ根アルプスシオン伝道所から献身

私が神学校に入学したのは福音宣教をするために学びが必要だと感じたからです。

神学校では多くの事を学ばせていただきました。歴史、聖書、牧会、アッセンブリーの教理、宣教。学んでみて思うのは、学びに終わりはないということでした。これからさらに学び続けていかなければなりません。そのための勉強方法、そして良

き教師との出会い、この神学校で得た恵みは計り知れません。主に仕えるすべてのキリスト者が目指す共通の目標は「イエス様のようにこの地で生きる」という事だと学びました。私がいただいた召命の御言葉を拝読させていただきます。

「わたしはあなたを僕として、ヤコブの諸部族を立ち上がらせ、イスラエルの残りの者を連れ帰らせる。だがそれにもまして、私はあなたを国々の光とし、わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする」

このみ言葉を受け取ってから二年後に神学校に入学しました。仕事を辞め、30歳にもなって学生になるとは夢にも思っていませんでした。その日その日を精一杯生きていた私は、一切貯金がありませんでした。三年間の学費と寮費、教科書代と生活費。それらの必要を満たしてから入学しようとする何年後に入学していたかわかりません。

幸い奨学金制度があると伺い、学費と寮費はお借りさせていただきました。一年かけて100万円をため、教科書代、引越越し代、様々な諸経費を満たし、無事入学することができました。

主に従うことを決め、将来を委ねた後には、どんな道が開かれていきました。皆様のお祈りと支えを受けて、来月には伝道師として遣わされていきます。今ここに私が立っているのは「主の憐れみ」と、皆様の「祈りと支え」があったからです。

厚く御礼申し上げるとともに、御国の拡大に役立つ器となるよう、更に祈り支えて頂きますようお願い申し上げます。また、後に続く「主の僕」のためにもご支援いただきありがとうございます。

(現在は中村福音キリスト教会の教職者としてお励みです)

## 2017年の会員募集中

後援会では、会費を納入して頂いた年を限りに会員とすることとなっております。継続・新規に会員となっていただけますようにと切に願っています。後援会会費の一部を使わせていただき、活動の報告と会員募集のアピールに時間を頂ける教会、教区聖会にお伺いします。神学校に申し出てください。お待ちしています。

なお、5月14日(日)には、松田副会長が御影神愛キリスト教会(瀬古慎二牧師)を訪問し、素晴らしい礼拝の後アピールをさせて頂きました。

## 2017年の会員状況

5月末時点で、4法人、26教会、122個人会員、20賛助会員が会費を納めておられます。ありがとうございます。会費総額は149万5千5百円（前年同期間比127%）です。

なお、昨年2016年の会費納入者名は別掲の通りです。心から感謝申し上げます。

## 2017年事業計画

8月には、全国ろう者聖会で行われる、ろう者神学校卒業式・入学式に参加し、卒業生に記念品を贈ります。

## 清掃ボランティア募集

8月11日（山の日・金）

9時～14時

雑草刈り、池の水替え。その後バーベキューを楽しみ交流を図ります。大人も子供もご参加ください。お待ちしております。

発行 中央聖書神学校後援会

所在地 〒170-0003

東京都豊島区駒込3-15-20

TEL 03-3918-4925

FAX 03-3918-4064

E-mail: cbc@ag-j.or.jp

編集 後援会委員会

印刷所 ベーテルフォト印刷(株)

発行日 2017年6月17日